

保護者 様

菊川市立小笠南小学校長

令和5年度小笠南小学校教育の振り返り＜前期＞について（お知らせ）

7月に実施した小笠南小学校学校評価アンケートへの御協力をありがとうございました。調査結果をまとめましたので御報告します。

調査項目	対象	過去3年での最高値	過去3年での最低値	5ポイント以上変動	前回との増減
		R4 肯定的%	R5前期 肯定的%	R5数値目標	
1 学校が楽しい	児童	99	97.7	/	-1.3
	保護者	97	96.3		-0.7
	教師	92	100		8
2 みんなで何かをするのは楽しい	児童	100	97.7	/	-2.3
	保護者	97	97.2		0.2
	教師	100	100		0
3 授業に主体的に取り組んでいる	児童	98	93.8	98	-4.2
	保護者	82	81.5		-0.5
	教師	92	92.9		0.9
4 授業がよくわかる	児童	96	92.3	/	-3.7
	保護者	84	84.3		0.3
	教師	75	75.5		0.5
5 学校に、信頼することのできる先生がいる	児童	96	96.1	/	0.1
	保護者	86	93.5		7.5
	教師	—	92.9		0.9
6 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	児童	96	89.1	/	-6.9
	保護者	—	54.7		—
	教師	—	75.5		-16.5
7 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う	児童	96	93.8	/	-2.2
	保護者	—	79.6		—
	教師	75	85.7		10.7
8 授業では、コンピュータなどのICTをどの程度使っているか	児童	100	99.2	/	-0.8
	保護者	—	87		—
	教師	—	100		0
8① 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っているか	児童	100	98.9	/	-1.1
	保護者	—	—		—
	教師	—	78.6		—
8② 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか	児童	100	96.6	/	-3.4
	保護者	—	—		—
	教師	—	78.6		—
8③ 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか	児童	96	80.9	/	-15.1
	保護者	—	—		—
	教師	—	71.5		—
9 進んであいさつしようとしている	児童	99	96.9	/	-2.1
	保護者	92	80.5		-11.5
	教師	100	100		0
10 よりよい考えにするために、くらべて考えようとしている	児童	95	93	/	-2
	保護者	83	74.1		-8.9
	教師	—	85.7		—
11 自分、学級、学校をよりよくしようと、進んで行動している	児童	98	94.5	95	-3.5
	保護者	—	71.3		—
	教師	—	92.8		—

	調査項目	対象	R4 肯定的%	R5前期 肯定的%	R5数値目標	前回との増減
12	自分の考えや立場を相手に分かるように話そうとしている	児童	97	99.2	96	2.2
		保護者	85	72.2		-12.8
		教師	92	71.4		-20.6
13	相手の考えや立場を分かるまで聴こうとしている	児童	97	97.7	96	0.7
		保護者	81	73.2		-7.8
		教師	92	85.7		-6.3
14	だれかの役に立とうとしたり、自分のよさに気付こうとしたりしている	児童	96	96.1	95	0.1
		保護者	98	86.1		-11.9
		教師	100	92.8		-7.2
15	くらべる・つなげる・まとめる力を身に付けることができている	児童	96	80.6	95	-15.4
		保護者	83	—		—
		教師	92	71.4		-20.6
16	学んだことを学んだ場面に応じて使う力・伝える力を身に付けることができている	児童	96	97.6	—	1.6
		保護者	—	—		—
		教師	83	71.4		-11.6

※保護者、教師を対象とした調査項目の主語は、「子どもは」です。

<アンケート結果の分析・考察>

<p>全ての項目で80%以上の子どもたちが肯定的に評価しました。また、今年度重点的に育成を図っている資質・能力に係わる項目(数値目標を設定した項目)においては、半数である【12】【13】【14】の項目で目標達成をすることができました。それぞれの資質・能力に係わる項目についての成果と課題は、次のとおりです。</p> <p>(1) 主体性 【3】：93.8% 【11】：94.5% → ▲共に目標未達成 委員会を中心とした南小パワーアップ大作戦や個別最適化を目指した授業を進めていくことで、子どもたちが主体的に活動したり学んだりできる環境づくりに努めていきます。</p> <p>(2) 人間関係形成能力 【12】：99.2% 【13】97.7% → ◎共に目標達成 「たいわき」を合言葉に、子どもたちが対話でつなぐことの楽しさや分かりやすさを実感できたことが、目標達成につながったと考えられます。</p> <p>(3) 自己肯定感 【14】：96.1% → ◎目標達成 職員や児童会による子どもの頑張りを認める声かけを見える化したグッジョブカードの取組を行ってきたことが、目標達成につながったと考えられます。</p> <p>(4) くらべる・つなげる・まとめる力 【15】：80.6% → ▲目標未達成 子どもたち自身が目指す姿を十分にイメージできていなかったり、力を発揮できている場面を職員が価値付けられていなかったりすることが原因であると考えられるので、2学期以降はカードを使っての視覚化や言葉掛けによって、子どもたちが力を発揮できていることを実感できるようにしていきます。</p> <p>(5) 表現力 【16】：97.6% → ◎過去最高値 各学習のまとめにおいて、学んだことがこれからの生活にどのように生かせそうか振り返ることに力を入れたり、けてぶれ学習に取り組んだりしてきたことが、今回の高い数値につながったと考えられます。</p>
--

<皆様からいただいた御意見より> ～お子さんのよいところ、成長したと感じるところ～

<p>お子さんのグッジョブみつけ(よいところ、成長したところ)をありがとうございました。どれも素敵なグッジョブばかりで、保護者の皆様がお子さんのよさや頑張りを十分に認め、褒めてくださっていることを有難く思います。</p> <p>なお、保護者の皆様から寄せられた御意見には、子どもたちの性格や行動の傾向がいくつか見受けられました。以下に共通する傾向や特徴をまとめてみました。</p> <p>【保護者の皆様を感じる南小の子どもたちの傾向や特徴】 1. 思いやりと優しさ 2. 責任感 3. 協力と協調性 4. 学ぶ意欲 5. コミュニケーションと表現 6. 自己主張と自己意識 7. 成長と努力 8. 環境適応 9. 好奇心と探求心 10. ポジティブな態度</p> <p>これらの傾向や特徴は、子どもたちが良い人間関係を築き、学習や成長に取り組むための大切な要素と言えます。これからの学校教育活動の中でも、子どもたちがもっているこれらのよさを大きく伸ばしていけるようにしていきたいと思っております。</p>

今後も教育目標「自信をもち 自分の力を発揮する子」の具現のため、精一杯努力してまいりますので、御理解・御協力のほど、よろしくお願いいたします。